

やさしい服を小さな子のために
日常的に身を纏う服を簡単に、もっと使いやすく、危険を減らし
てきれいにしてみませんか。

知恵
1

よだれかけのひもはたすき結びをする

首と胴にひもがある赤ちゃんのよだれかけは、首と胴の後ろでそれぞれ結ばないで、背中でもクロスにして結ぶようにしましょう。こうすれば、首がしまる心配がありません。

知恵
2

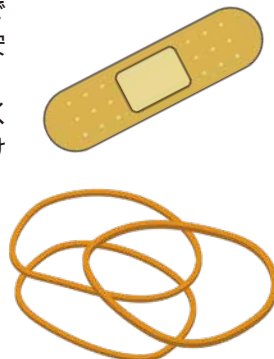
ひとりでも楽に着替えができるお洋服の工夫

小さい子どもにとって、襟のボタンの開け閉めやスナップを留めるのは難しいものです。ボタンではなくマジックテープにすると、かんたんに脱ぎ着できます。

知恵
3

ヨチヨチ歩きの赤ちゃんのくつ下にすべり止めをつける

冬などは、毛糸の靴下で歩くとすべって危険です。ましてや、ヨチヨチ歩きの赤ちゃんは不安定で危険がともないます。そんな時は、すべり止めとしてばんそうこうをくつ下の底にはったり、前後に輪ゴムを縫い付けましょう。

知恵
4

くつ下の汚れはビー玉でおとす

子どものくつ下は、一度はくとすぐ真っ黒に。そんな時は、くつ下に5～6個のビー玉を入れて洗濯しましょう。洗濯機が回るとビー玉がもみ洗いしてくれます。

知恵
5

真っ白のうわばきの秘密は練り歯磨き

うわばきは、週末にマメに洗ってもすぐに汚れてしまいます。洗濯して干す前に、練り歯磨きをすり込んでみてください。今までにないような白い仕上がりになるだけでなく、あとからついた汚れも落とすやすくなります。

知恵
6

衣類についての汚れの落とし方

アップリケのしみ

フェルトのアップリケは食塩をふってブラシで払い落とします。

墨汁の汚れ

洗剤を加えたご飯粒を汚れた部分にぬりつけて指先でもむと落ちます。

クレヨンの汚れ

きれいな消しゴムを衣類についたクレヨンの周りから軽くこする。

飴のベタつき・しみ

ベタベタした飴のしみは大根おろしを包んだサラシ布で叩くと落ちます。